

# 編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
107-105	高等学校	地理歴史科	地図	
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教科書名		
46 帝国	地図 046-902	標準高等地図		

## 1. 編修の基本方針

◇教育基本法第2条に示される教育の目標を達成するために、下記のような基本方針に基づいて編修した。

(1) 大きく見やすい地図で、知識・技能の着実な習得を促し、資料の読解から、思考・判断できる地図帳

- ・ A4判のワイドな紙面で一般図・主題図を中心に鳥瞰図「○○を眺めてみよう」や都市図など、さまざまな表現の地図を設置し、世界・日本各地の現状をわかりやすく捉えられるようにした。
- ・ 基本となる一般図ページを中心に地図の読み解きを促す「読図」コーナーを随所に設け、地理的な見方・考え方を働かせながら課題に取り組むことができるようにし、「地名解説」では各図において重要な地名を学習に資する観点で深められるようにした。
- ・ 防災やGISを扱うページでは、ハザードマップやスマートフォンアプリなどの身近な事例を掲載し関心を高めることで、身の回りのさまざまな事象を空間的に理解し考察する力を身につけられるようにした。

(2) 国際理解を促し、持続可能な社会の形成に参画する意識を育む地図帳

- ・ 世界各地の文化の多様性を理解できるよう、鳥瞰図「○○を眺めてみよう」や巻末の主題図ページに生活文化やその背景となる事象をイラストで配した。
- ・ 巻末の主題図ページでは、現代社会が抱える諸課題について理解し、持続可能な社会に向けて意識を高められるよう、地球的課題を読み取る主題図をテーマごとに掲載した。

## 2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
全体を通して	◇日本・世界の自然、産業、歴史など、様々な情報を地図上で幅広く取り上げ、空間認識をともなった幅広い知識や教養が身につくように配慮した(第1号)。 ◇地図帳の随所に地理的な見方・考え方を働かせる問い「読図」を設置し、生徒が主体的に地図を読み取る力を身につけられるようにした(第2号)。 ◇二次元コードを随所に配置し、デジタルコンテンツを活用して理解を深められるようにした(第2号)。	本書全体
世界の国々	◇全197か国の位置・国名・首都名などを端的に把握できるようにした(第1号)。 ◇全197か国の国旗を掲載し、国旗への関心が高められるようにした(第5号)。	p.1-3 p.4
地図帳の使い方	◇基本的な地図の種類や地図の見方を示し、地図帳をより活用できるようにした(第1号)。	p.5

<p>世界の一般図（基本図・拡大図）、都市図</p>	<p>◇基本図で国名や基礎的な地名、自然地域名称などを確認しやすくし、拡大図でさらに詳細な地名や自然地域名称を調べられるよう配慮した（第1号）。</p> <p>◇紙の地図帳の長所である一覧性・俯瞰性を活かし、グローバルな時代に適した世界を広く捉える図取りの地図を随所に配置した（第5号）。</p> <p>◇「世界自然遺産」、「ラムサール条約登録湿地」などの特殊凡例を配し、環境への関心が高められるように配慮した（第4号）。</p> <p>◇同縮尺・同緯度の日本図を随所に用意し、日本との位置関係や大きさを比べながら世界を学べるよう配慮した（第5号）。</p> <p>◇「地名解説」では各図郭内において重要な地名を学習に資する観点でより深められるようにした（第1号）。</p> <p>◇「アジア・ヨーロッパ・北アメリカ」、「アフリカ」、「ヨーロッパ」の3か所に行政区分の地図を設置し、各国の範囲を捉えやすくなるよう配慮した（第1号）。</p>	<p>p.7-10、13-20、23-30、33-38、41-46、49-74、77-84、87-92、95-98</p> <p>p.7-8、43-44、51-52</p>
<p>世界の鳥瞰図「〇〇を眺めてみよう」・地域の鳥観図</p>	<p>◇中国・ヨーロッパ・北アメリカなど、全8地域に迫力ある鳥瞰図「〇〇を眺めてみよう」を設け、地域の姿をより具体的・視覚的に捉えられるようにした（第1号）。</p> <p>◇鳥瞰図「〇〇を眺めてみよう」の図中やまわりに各国の生活文化を捉えられるイラストを配置し、他国の文化を尊重できるように配慮した（第5号）。</p> <p>◇地域のようにすを地図と併せて視覚的に捉えられるように、イスラエル、アルプス、グランドキャニオン、ロサンゼルス、パナマ運河の鳥瞰図を設置した（第1号）。</p>	<p>p.11-12、21-22、31-32、39-40、47-48、75-76、85-86、93-94</p> <p>p.38、62、82-83</p>
<p>日本の一般図（基本図・拡大図）、都市図</p>	<p>◇基本図で日本の位置や47都道府県、主要な都市などを確認しやすくし、拡大図で各地方の詳細な地名や自然地域名称を調べられるよう配慮した（第1号）。</p> <p>◇「世界自然遺産」、「ラムサール条約登録湿地」などの特殊凡例を配し、環境への関心が高められるように配慮した（第4号）。</p> <p>◇地域の生活・文化にとって重要な旧市町村名について、字名で記載した（第5号）。</p> <p>◇「地名解説」では各図中において重要な地名を学習に資する観点でより深められるようにした（第1号）。</p> <p>◇都市図内に活断層の分布と標高0mの等高線を追加し、活断層や海面下にある地域をより具体的に確認できるようにし、総合的に地域の防災を考察できるようにした（第4号）。</p>	<p>p.99-128</p> <p>p.99-128</p> <p>p.99-128</p> <p>p.99-128</p> <p>p.103、105、107、110-112、116、121-122、125</p>
<p>テーマ別主題図</p>	<p>◇世界や日本の国土の自然環境の幅広い知識と教養を身につけるため、これらの内容を系統的に学べる主題図を豊富に掲載した（第1号）。</p> <p>◇自然災害と防災のページでは、日本の地形・気候の特徴と災害発生メカニズムがわかる総論ページ、具体事例から災害への備えを学べる事例ページを設けた。自然災害や防</p>	<p>p.129-176</p> <p>p.139-146</p>

<p>テーマ別主題図 (続き)</p>	<p>災について被害状況がわかる地図やハザードマップなどを掲載し、複数の地図を比較できるようにした。また、過去の災害に対し先人が行ってきた防災対策や、災害を予測し注意を促す地図を掲載し、自然災害に備えることの大切さを学べるようにした(第3号)。</p> <p>◇貿易や経済、通信や観光を捉える主題図を掲載し、結びつく世界への理解を深められるようにした(第5号)。</p> <p>◇衣食住や宗教・言語の広がりをつまえる主題図や写真を掲載し、生活文化の多様性を考えられるようにした(第3号)。</p> <p>◇農林水産業や工業を捉える主題図を掲載し、社会を支える産業への理解を深められるようにした(第2号)。</p> <p>◇食料問題、資源・エネルギー問題、人口問題、紛争など、現代社会が抱える諸課題を読み取れる主題図を多く配し、地球的課題の背景などを主体的に考えられるようにした(第3号)。</p> <p>◇環境問題に関するページを設け、様々な環境問題の分布や原因、各地での現状を把握し、環境保全に向けての意識を高められるよう配慮した(第4号)。</p> <p>◇地図の成り立ちやGISの役割や有用性を示し、地図やGISを目的や用途によって適切に選択する力を養えるようにした(第1号)。</p> <p>◇各テーマを自分事ごととして関心を高められるよう「<b>身近事例</b>」を設置した。また、一層理解を深められるよう、テーマや各図の見方を示す「<b>ポイント</b>」、「<b>手がかり</b>」を設置した(第1号)。</p>	<p>p.147-152</p> <p>p.153-160</p> <p>p.161-172</p> <p>p.161-172</p> <p>p.171-172</p> <p>p.173-176</p> <p>p.139-176</p>
<p>統計資料</p>	<p>◇世界・日本とも統計資料を充実させることで、数値に裏付けられた世界・日本の姿、位置づけを理解できるようにした(第1号)。</p> <p>◇「地図とランキングでみる統計」コーナーを設け、具体的な数値から持続可能な社会の実現について考えられるようにした(第3号)。</p>	<p>p.177-188</p> <p>p.185-186</p>
<p>日本の位置とまわりの国々</p>	<p>◇日本の領土・領域や排他的経済水域を正しく掲載するとともに、日本の東西南北端の写真や、日本固有の領土に関する資料図も配することで、近隣諸国の中での日本の位置や、領土の広がりを理解できるようにした(第5号)。</p>	<p>p.199-200</p>

### 3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

(1) すべての生徒に読みやすい地図帳

①色覚に特性がある生徒でも識別しやすい色を使用した。

②国名や首都名など重要な地名や統計資料の書体は、可読性の高いユニバーサルデザインフォント(UDフォント)を使用した。

(2) 環境に優しい素材と堅牢な造本

①紙は生徒の負担にならないよう、丈夫でありながら軽い、地図帳専用の特別な用紙を使用した。

②インキには、再生産が可能な植物由来の油などを原料とするものを使用した。

③長期の使用に耐えられるよう、本の綴じ目を糸かがりした上で糊付けし、堅牢に製本した。

# 編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当時数表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
107-105	高等学校	地理歴史科	地図	
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教科書名		
46 帝国	地図 046-902	標準高等地図		

## 1. 編修上特に意を用いた点や特色

◇社会的事象等の地理的な見方・考え方を働かせて課題を追究したり解決したりする学習を通し、平和で民主的な国家及び社会を形成するために必要な資質・能力を育成できる教科書となるよう、以下の点に配慮した。

### (1) 生徒の興味・関心を高めるために工夫された地図帳

- ・巻頭の使い方ページでは、地図や各コーナーの種類、役割をイラストとともに丁寧に示した。
- ・世界の8地域には立体的に地形を捉えられる鳥瞰図「〇〇を眺めてみよう」を設けた。見開き内には地域の自然環境や歴史、産業など、生活文化の背景となる事象をイラストで配し、地域の特徴を概観できるようにした。
- ・巻末の主題図ページには、各テーマを自分ごととして関心を高められるよう「身近事例」を設置した。
- ・二次元コードを随所に設置し、デジタルコンテンツを活用して学習が深められるようにした。「地球儀でみる主題図」などの学習に役立つコンテンツを充実させた。

### (2) 地理総合の学習で一層活用できるテーマ別主題図

- ・主題図ページのタイトルを地理総合の学習単元に合わせることで、学習時の活用場面が想定しやすくなるよう配慮した。
- ・主題図ページでは、自然環境、自然災害と防災、結びつく現代世界、生活文化の多様性、地球的課題、地図と地理情報システムに関連する地図やグラフをそれぞれ一見開きにまとめ、複数の図から各テーマについて考えられるようにした。
- ・地理総合の学習で一層理解を深められるよう、各図の見方を示す「ポイント」、「手がかり」を設置した。

### (3) A4判のワイドな判型を採用し、より見やすく使いやすく編修した地図帳

- ・A4判の大判サイズを活かした大きく見やすい地図で、世界の全地域をとりあげた。
- ・日本全国を適切な縮尺の地図で網羅した。国土の広がりや、都市の分布などを捉えられるようにした。
- ・日本の領土や排他的経済水域などが学べる地図や、日本の北端から西端までを連続して見渡せる500万分の1の日本列島の地図から、日本の国土の空間的な広がりを理解できるようにした。
- ・基本となる一般図は、標高ごとに配色する等高段彩表現で統一した。また、段彩に鮮やかな黄緑色などを用い、明るく見やすい配色を心がけた。
- ・「地名解説」では、一般図において、それぞれの地域を捉えるうえで重要な地名を選択して解説し、学習の一助となるようにした。“自然”、“産業”、“歴史”、“社会”の4つのカテゴリーに分類し、地理歴史科、公民科にまたがって活用できるように配慮した。
- ・主要な都市の様子をつかめる都市図を充実させ、世界21都市、日本13都市の都市図を掲載した。
- ・作業を伴う具体的な問い「読図」を随所に設置し、地理的な見方・考え方を働かせながら地図を読み取ることができるようにした。

### (4) すべての生徒への見やすさを追究した地図帳

- ・色覚に特性がある生徒でも色を判別できるよう、表現を工夫した。また、色彩だけでは判読が難しい場合は、模様を入れるなどして表現を工夫した。
- ・タイトルやインデックス、世界の国名や首都名、日本の地名にユニバーサルデザインフォントを採用し、すべての生徒に見やすく読みやすいよう配慮した。

2. 対照表					
図書の構成 ・内容	構成・内容の特色	学習指導要領の内容			該当 箇所
		地理総合	歴史総合	地理探究	
全体を通して	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「読図」コーナーを随所に設け、作業を伴う具体的な学習を通して地理的な見方・考え方を働かせられるようにした。</li> <li>・二次元コードコンテンツで学習を深められるようにした。</li> </ul>	全体	全体	全体	全体
世界の国々	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界の大陸や海の分布、日本の国土や国々の位置関係、を大きく捉えることができるようにした。</li> </ul>	A(1)		B(1)	p.1-3
地図帳の使い方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な地図の種類や地図の見方を示し、地図を活用した学習を深められるようにした。</li> </ul>	A(1)			p.5
世界の一般図(基本図・拡大図)・都市図	<ul style="list-style-type: none"> <li>・さまざまな図法、縮尺の地図を掲載しており、目的に応じて活用することができるように工夫した。</li> <li>・港湾・空港などの施設、道路や線路・航路をわかりやすく示しており、交通網の分布や交通機関による結びつきなどを読み取ることができるようにした。</li> <li>・特徴的な自然地形名を地図中に表記し、その地形がみられる場所の地理的環境を考察することができるようにした。</li> <li>・世界と日本の位置関係や、各国の独立の動きなどを現在の地図と共に理解することができるように工夫した。</li> <li>・都市図には、歴史的な遺産や有名な観光地のイラストを配置し、世界の主要都市への関心を高められるようにした。</li> </ul>	A(1) B(1)(2) B(1) B(1)	A(1)(2) B(2) C(2)(3) A(1)(2)	A(3) A(1) A(5) B(1) A(4)	p.7-10、 13-20、 23-30、 33-38、 41-46、 49-74、 77-84、 87-92、 95-98
世界の鳥瞰図「○○を眺めてみよう」・地域の鳥瞰図	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界の8地域に見開きで鳥瞰図「○○を眺めてみよう」を設置し、地域の特徴を概観したり基本図と比較しながら地形を読み取ったりできるように工夫した。また、図内やまわりに配置されたイラストから世界各地の生活文化の多様性とその背景を考察することができるように配慮した。</li> <li>・今も現存する歴史的な遺産などのイラストを配置し、現在と歴史のつながりを確認できるようにした。</li> <li>・イスラエル、パナマ運河の鳥瞰図や、アルプスとグランドキャニオンの鳥瞰図を設け、地域の様子を地図と併せて視覚的に捉えることができるように工夫した。</li> </ul>	B(1) B(1) B(1)	A(1)	A(1)(5) A(5) A(1)(3)	p.11-12、 21-22、 31-32、 39-40、 47-48、 75-76、 85-86、 93-94  p.38、62、 82-83
日本の一般図(基本図・拡大図)・都市図	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本全国を適切な縮尺の地図で網羅し、日本の国土の位置や空間的な広がりや、都市の分布などを捉えることができるようにした。</li> <li>・京阪神と名古屋、東京の大都市圏は縮尺50万分の1の拡大図を、福岡市や仙台市など各地方</li> </ul>	C(1)(2) C(1)(2)		C(1) C(1)	p.99-128  p.99-128

図書の構成 ・内容	構成・内容の特色	学習指導要領の内容			該当 箇所
		地理総合	歴史総合	地理探究	
日本の一般図(基本図・拡大図)・都市図(続き)	<p>の中心都市は都市図を掲載し、都市圏や通勤圏などの地域構造を捉えることができるようにした。</p> <p>・港湾・空港などの施設、道路や線路・航路をわかりやすく示しており、交通網の分布や交通機関による結びつきなどを読み取ることができるようにした。</p> <p>・特徴的な自然地形名を地図中に表記しており、その地形がみられる場所の地理的環境を考察できるようにした。</p> <p>・縮尺100万分の1の地図内に旧国名を併記することで、近代以前の国土のようすと現在を地図上で結びつけて考えることができるようにした。</p> <p>・都市図上に活断層、標高0mの等高線を示すことで、都市型の災害に対する意識を高められるように工夫した。</p>	C(1)(2)		A(3) C(1)	p.99-128
	<p>・特徴的な自然地形名を地図中に表記しており、その地形がみられる場所の地理的環境を考察できるようにした。</p> <p>・縮尺100万分の1の地図内に旧国名を併記することで、近代以前の国土のようすと現在を地図上で結びつけて考えることができるようにした。</p>	B(1)	A(1)	A(1)	p.99-128
	<p>・縮尺100万分の1の地図内に旧国名を併記することで、近代以前の国土のようすと現在を地図上で結びつけて考えることができるようにした。</p> <p>・都市図上に活断層、標高0mの等高線を示すことで、都市型の災害に対する意識を高められるように工夫した。</p>	C(1)(2)	B(1)(2)	C(1)	p.103-108、113-114、117-118、125-128 p.103、105、107、110、111-112、116、121-122、125
テーマ別主題図	<p>・世界や日本の国土の自然環境の幅広い知識と教養を身につけるため、これらの内容を系統的におさえられる主題図や写真資料を豊富に掲載した。</p> <p>・自然災害と防災のページでは、日本の地形・気候の特徴と災害発生のメカニズムがわかる総論ページ、具体事例から災害への備えを学べる事例ページを設け、自然環境と災害の関係を理解し、地域性をふまえた防災の重要性について考えることができるように工夫した。</p>	A(1) B(1)(2) C(1)(2)	D(4)	A(1)(2) (3)(4)(5) C(1)	p.129-176
	<p>・自然災害と防災のページでは、日本の地形・気候の特徴と災害発生のメカニズムがわかる総論ページ、具体事例から災害への備えを学べる事例ページを設け、自然環境と災害の関係を理解し、地域性をふまえた防災の重要性について考えることができるように工夫した。</p>	C(1)(2)		C(1)	p.139-146
	<p>・グローバル化に伴う世界のつながりを、地域経済統合や貿易、交通・通信・観光の地図で確認できるようにした。</p>	A(1) B(1)(2)		A(3) B(1)	p.147-152
	<p>・衣食住や宗教・言語、工業、農業を捉える主題図を掲載し、生活文化の広がりや、社会を支える産業への理解を深めることができるように工夫した。</p> <p>・環境問題、食料問題、資源・エネルギー問題、人口問題など、現代社会が抱える諸課題に関連する主題図をそれぞれ1見開きで設置し、地理総合の学習を深められるように工夫した。</p>	B(1) B(2)		A(2)(5) B(2) A(2)(4) C(1)	p.153-160 p.161-172
地図投影法と地図の歴史	<p>・さまざまな図法の特色や用途を体系的に示し、地図の役割や有用性を理解することができるように配慮した。</p> <p>・歴史的な地図資料や、近代化における地図製図技術の発達などを紹介し、地理と歴史への関心を高めることができるように工夫した。</p>	A(1)			p.173-174
			A(1)(2) B(1)		p.173-174

図書の構成 ・内容	構成・内容の特色	学習指導要領の内容			該当 箇所
		地理総合	歴史総合	地理探究	
地図投影法 と地図の歴史 (続き)	・地図の種類や GIS の役割と有用性を示す資料を配し、地図や GIS を目的や用途によって適切に選択する力を養うことができるように工夫した。	A(1)		C(1)	p.175-176
	・インターネットにおける地図サイトの活用例を示し、課題を探究する際の手法として活用できるようにした。	A(1) C(2)		C(1)	p.175-176
統計資料	・全 197 か国の正式名称、主要な統計、情報を見開きで掲載しており、現代世界を系統地理的・地誌的に考察することができるようにした。	B(1)(2) C(2)		A(1)(2) (3)(4)(5) B(1)(2)	p.177-188
	・世界の主要な国を取り上げ、それぞれの国とその国旗についての概要を掲載し、国際理解をより深められるように配慮した。	B(1)			p.177-184
	・「地図とランキングでみる統計」を掲載し、具体的な数値から持続可能な社会の実現について考察することができるようにした。	B(2)		A(1)(2) (3)(4)(5) C(1)	p.185-186
都道府県、古代の行政区分、日本の位置とまわりの国々	・都道府県境と古代の行政区分を併せて確認し、日本の近代化に伴う変化をとらえることができるようにした。		B(2)(3)		p.198
	・日本の国土が大小多数の島々から構成されていることが理解でき、また、竹島や北方領土、尖閣諸島などについては、位置と範囲を拡大図や写真とあわせて確認することができるようにした。	A(1)	B(3)	C(1)	p.199-200